SPEEDMASTER

SPEEDMASTER '57 OMEGA CO-AXIAL CHRONOGRAPH 41.5 MM
レッドゴールド & レザーストラップ

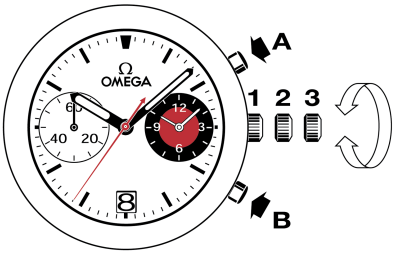
キャリバー
9301

331.53.42.51.02.002

- Co-Axial escapement
- Si14 silicon balance spring
- Automatic
- Chronometer
- Time zone function
- Tachymeter
- Sapphire crystal
- Anti-reflective treatment on both sides
- Sapphire crystal case back
- Gold 750‰ (18K)
- Water-Resistant to a relative pressure of 10 bar (100 metres/330 feet)

機能

リュウズは3つあります。



1. 通常位置 (着用時) : リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

再着用時 : 時計を60時間以上着用していない場合は、1の位置でリュウズを巻き上げます。

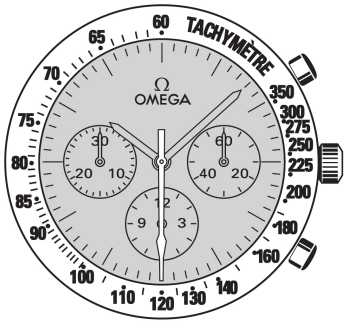
2. タイム・ゾーン及び日付の修正 : リュウズを2の位置に引き出し、6時側又は12時側へ回します。時針は一時間単位でジャンプし前進・後退します。時針が真夜中を通過すると、日付が連動します。リュウズを再び1の位置に押し戻します。

注意 : タイムゾーン修正時に後退させる場合、日付変更を確実にするために必ず午後7時まで戻してください。

3. 時刻 (時・分・秒) の設定 : リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回し現在時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。

1/8秒単位で最高12時間まで計測可能です。

タキメーター



目盛りを読み取るには、最大60秒までのクロノグラフの秒針とそれに対応する目盛りを確認します。

例： 自動車のスピード測定の場合

自動車が1kmの距離を走行するのに要する時間を測定します。中央秒針が指すタキメーターの目盛りを読み取ります。この例では、走行スピードは120km/hです。

フォールディング・クラスプ

開く（fig.1）： クラスプを開くには、オメガ・バックルの両方を押してから引き上げます。

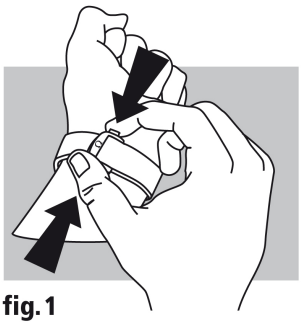


fig.1

閉める（fig. 2）： 時計を手首にはめ、カチッと音がするまで親指でクラスプを押して閉めます。

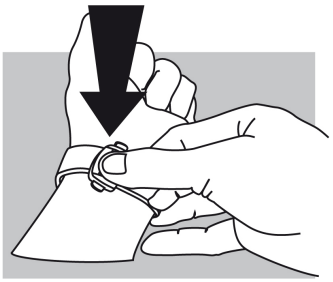


fig.2

長さの調整（fig. 3）： 金具Aと突起Bから、長いほうのストラップをはずします。必要に応じて長さを調整し、ストラップの穴を突起Bにはめ、ストラップの両サイドを金具Aの内側に納めます。必要があれば、再度調整してください。

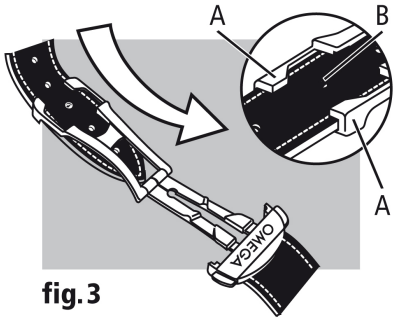


fig.3